

鶏 鳴  
けいめい

2009年9月13日(第28号)

## イエスの言葉

『蛇のように賢く、鳩のように素直になりなさい』

(マタイ福音書10章16節)

牧師 河合 裕志

蛇のように賢く、とイエスは言う。もっとうまい言い方ないの？ 蛇のように、なんてイヤな言葉。

ただ2千年の昔、蛇は賢いとされていたよう。創世記3章1節にこうある。「神が造られた野の生き物のうちで最も賢いのは蛇であった」。どの位賢かったか。それは言葉たくみにエバを誘惑し禁断の木の実を食べさせるに成功したんだから確かに賢い。アタマがいい。

でもどうなんだろう。蛇の賢さなんて。それは人を悪に誘い、神への不信感を吹き込み、失樂園に導く、こんなワル賢さは持ちたくないもの。

ではイエスの言う蛇の賢さとはどんな賢さ？

それはやはり言葉がたくみ、ということであるかも。2千年の昔、まだイエスを信じる者は1ダースしかいなかった。人間となった神・イエスを信じる者に対してユダヤ教側からもローマ帝国側からも風当りは強かった。この烈風の中、右に左に通るごして行くには余程言葉遣いに気を配った。下手に言質をとられないように右に左にスルルスルりとくぐり抜けて行く。

別にイエスの弟子でなくとも言葉遣いのたくみさは必要なこと。人をワナに陥れる

ためではなく自らの身を守るために。

それから「鳩のように素直に」とはどういうこと？ 鳩って素直なの？ 鳩は平和のシンボルなどと言うけれど。素直とは「おだやかで逆らわないさま、ひねくれたところがなく純真なさま、くせがないさま」。鳩がそういう素直さをもつ鳥かどうかは別として、もし私がこんな素直さを身につけることができたなら幸い。どうも年をとる程に素直さから遠くなって行く感じ。いくつになってもスナオでありたいもの。こういう人は人々から愛される。イエスはそんな人間であれと弟子達に、また全ての人に願っている。

ただ「逆らわない」ことについて一言ふれば、これは事と場合よっては逆らうことのあることを排除するものではないだろう。

普段は逆らわない、従順、だれとでも仲よく付き合う。ただしかしイエスの弟子であることをやめなさいとか、あの人をいじめようとか、日本も核武装したらいい、といった誘いかけに対しては逆らう。

蛇の賢さ、鳩の素直さ、この両方をおかね備えることができたなら幸い。蛇と鳩を目にしたら賢さ、素直さを改めて求めよう。

## 集会案内

主日礼拝 : 毎日曜日午前10時15分

子どもの教会 : 毎日曜日午前9時

中高校生会 : 毎日曜日礼拝後

婦人会・壮年会 : 第2日曜日礼拝後

聖書を学ぶ集い : 第4水曜日午前10時

オリーブの会(読書会) : 第3月曜日午前10時